

薩摩川内市 公園施設長寿命化計画

素案

令和 8 年〇月

鹿児島県 薩摩川内市 建設部 都市整備課

1. 都市公園整備状況

(2023 (R5) 年度末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
40	88.1ha	10.37 m ² ※

※「統計さつませんだい 令和6年度版 薩摩川内市の市民生活」より

2. 計画期間（西暦）：2026 (R8) 年度～2035 (R17) 年度（10 箇年）

3. 計画対象公園

①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
30	5	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	37

②選定理由

都市公園は、市民の憩いの場であるとともに、地域活性化の拠点、環境教育の場、健康増進、防災機能等さまざまな役割を担っている。これらの機能を安全に持続させ、市民がより安心安全に利用できるよう予防保全型管理を導入するにあたり、市が管理する都市公園のうち 37 箇所を計画対象とする。

対象都市公園は、「都市公園法第2条に基づく都市公園（公園又は緑地）」と設定する。

4. 計画対象公園施設

①対象公園施設数 ※速報値

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
151	52	382	189	72	40	127

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
1,270	—	—	2,283

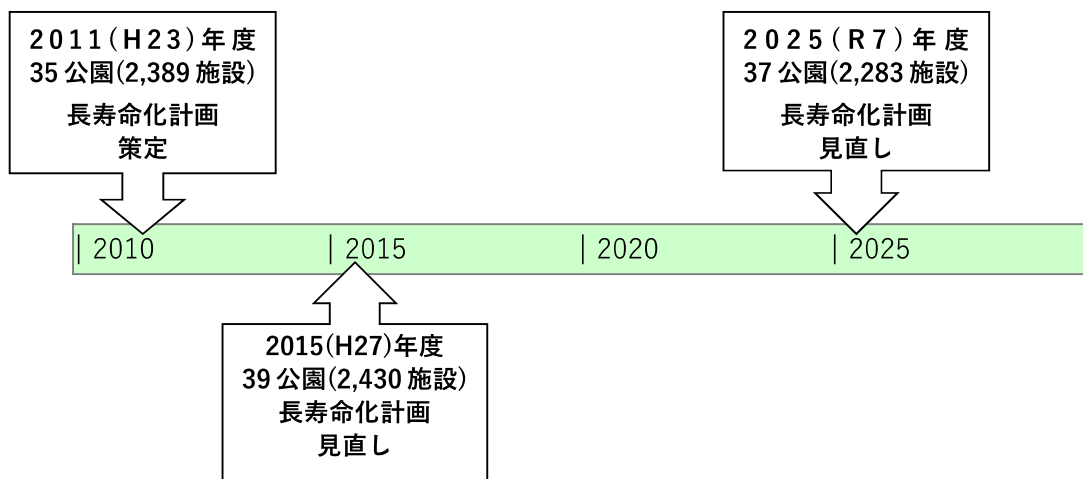
②これまでの維持管理状況

本市では、指定管理者により公園の日常点検及び維持保全（清掃・保守・修繕）をしており、巡視以外にもベンチ、柵、照明等の点検を目視、触診によって行なっている。この点検により危険箇所が発見された場合、緊急度の高いものから更新もしくは、補修を行ってきた。

③選定理由

本市の公園は設置から 30 年以上経過した公園が 70%を占め、10 年後には約 84%に達する見込みである。これまで公園施設の更新は、日常点検の中で老朽化が顕著な施設に対して緊急度を鑑みて実施していたが、今後の効率的な公園施設の更新を促進すること、市全体の公園を相対的に考慮しながらストックマネジメントを遂行することを目的として、対象施設を選定した。計画対象施設については、公園施設の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、ライフサイクルコストの縮減を図る。

本市では、公園施設長寿命化計画を 2011(H23) 年度に長寿命化計画を策定し、2015(H27) 年度に公園施設長寿命化計画の見直しを行っている。2015(H27) 年度に策定された公園施設長寿命化計画の計画期間が 2025(R7) 年度にて満了となるため、2026(R8) 年度以降の公園施設長寿命化計画の見直しを行った。

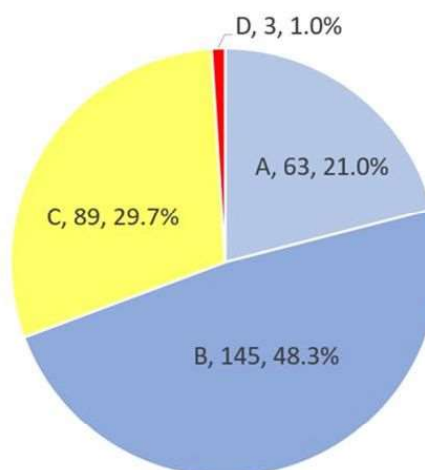


5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要（個別施設の状態等） ※速報値

国土交通省の公園施設長寿命化計画策定指針（案）に則り、健全度調査を実施した。調査対象は2,283施設のうち、予防保全型管理を行う候補とした300施設である。

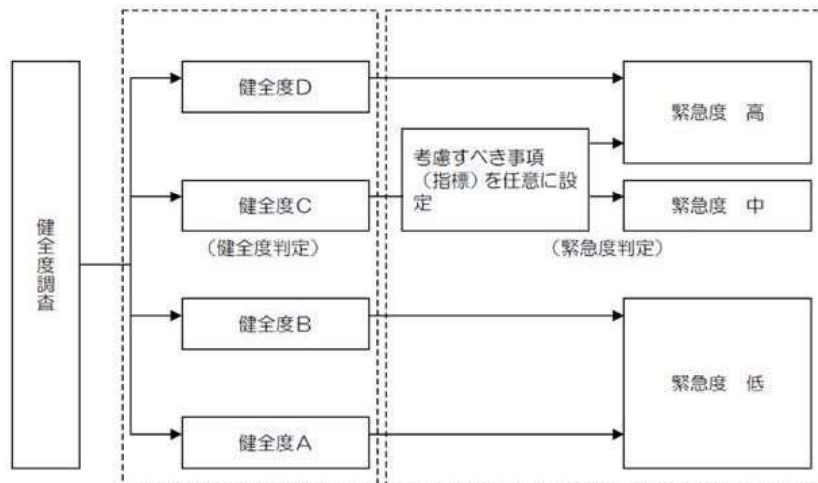
健全度	A	B	C	D	合計
園路広場	—	—	—	—	—
修景施設	2	2	2	—	6
休養施設	6	24	8	—	38
遊戯施設	36	86	64	3	189
運動施設	1	14	3	—	18
教養施設	—	—	1	—	1
便益施設	6	9	2	—	17
管理施設	12	10	9	—	31
その他施設	—	—	—	—	—
合計	63	145	89	3	300

ランク	評価基準
A	・全体的に健全である ・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの
B	・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している ・緊急の補修の必要性はないが、維持保全管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの
C	・全体的に劣化が進行している ・現時点では重大な事故にはつながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの（予防保全型管理とします。施設の更新の目安）
D	・全体的に顕著な劣化である ・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるもの

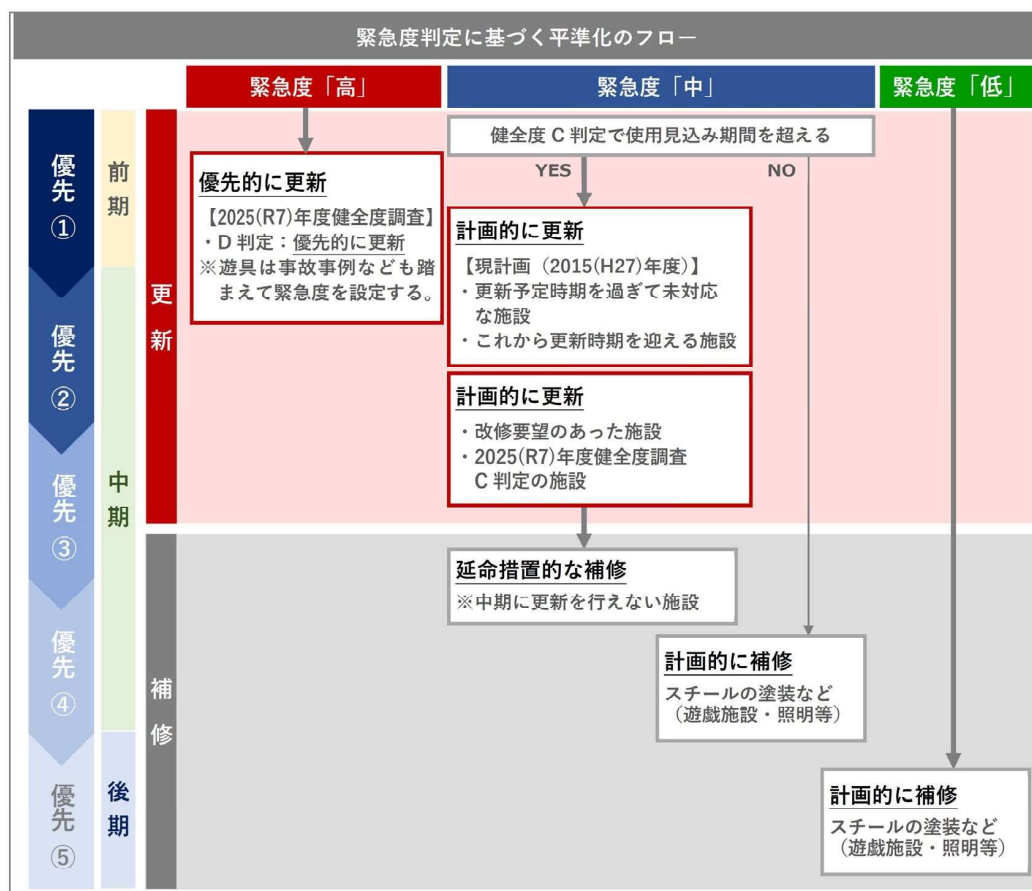


6. 対策の優先順位の考え方

国土交通省の公園施設長寿命化計画策定指針（案）に則り、健全度調査の結果から、対策の優先順位の基準となる緊急度を判定する。



分類した緊急度に基づき、緊急度「高」の施設から対策を行うことを基本とし、現計画（2015（H27）年度策定）にて更新未実施の施設や改修要望、健全度調査結果等も踏まえ優先順位を整理する。以下にフローを示す。



7. 対策内容と実施時期

①日常的な維持管理に関する基本的方針

日常的な維持管理や保全（清掃・保守・修繕）は、市及び指定管理者により随時巡視点検を実施し、公園施設の機能と安全性を維持するとともに、施設の劣化や損傷を把握する。公園施設の異常が発見された場合は、使用を中止し事故等を予防する。

また、予防保全型管理施設のうち、遊戯施設は年1回の定期点検を行い、遊戯施設以外の施設についても適宜点検を行う。

事後保全型管理施設の更新については、劣化状況に応じて決定する。

②公園施設の長寿命化のための基本方針

1. 予防保全型管理施設

予防保全型管理に分類された施設の維持管理方針を設定する。

公園施設長寿命化計画の目的は、「安全性の確保」「機能の確保」「ライフサイクルコストの縮減」であり、この3つの観点から、以下の3つの事項を維持管理の基本方針とする。

①安全性の確保

- ・公園施設を長寿命化するための補修を行い、安全性を確保しつつ、延命して使用
- ・健全度判定に基づき、安全性確保が急がれる施設を優先的に更新
- ・使用見込み期間を超過した施設は、健全度判定結果を考慮して更新を計画

②機能性の確保

- ・市全域や地域における公園の位置付けを整理し、公園毎に求められる機能の発揮を促す
- ・市民が求める機能を提供し得る公園施設を中心に長寿命化計画を進める

③ライフサイクルコストの縮減

- ・予防保全型管理候補施設を対象にLCCの縮減効果を検証
- ・LCC縮減効果が認められることを前提とし、予防保全型管理を実施

2. 事後保全型管理施設

事後保全型管理施設は全公園施設の半数以上となり、それらの施設を寿命に基づき更新を行っていくと、莫大な費用を要することになる。そのため、事後保全型管理施設のうち、優先度の高い施設から更新を行っていくこととする。

優先度の高い施設は、長寿命化計画の目的を踏まえ、日常的に人が直接触れる施設や、公園内の安全性を確保するために必要な施設に限定し事業費の縮減を図る。

8. 対策費用 ※暫定値／平準化前

今回長寿命化計画を見直した公園において、全ての予防保全型管理施設にかかる対策費用は約 394,930 千円（10 年間）の見込みである。

今後、6. 対策の優先順位の考え方に則り、単年度における対策費用の平準化を図る。

9. 計画全体の長寿命化対策の実施効果 ※暫定値

今回長寿命化計画を見直した公園における、ライフサイクルコスト縮減額は 56,800 千円（10 年間）の見込みである。

10. 計画の見直し予定

①計画の見直し予定年度（西暦）：2035 (R17) 年度 予定

②見直し時期、見直しの考え方など

計画運用において、予想外の補修、もしくは撤去・更新が生じる可能性がある。当面は長寿命化計画期間の終了前に見直しを行う予定とするが、長寿命化対策費用の見込みが大きく変わり、長寿命化計画で定めた内容から著しく乖離し、長寿命化計画の運用に支障が生じた場合などは適宜長寿命化計画の見直しを実施する。

なお、遊戯施設などで年 1 回の定期点検を行っている施設については、その結果を健全度調査として活用する。

公園施設長寿命化計画 様式1イメージ

※「公園施設長寿命化計画 6.対策の優先順位の考え方」に準ずる

公園種別	対象公園	供用 年度	緊急度 (健全度)	対象施設	対象 施設数	年次計画(10年間)	
						2026年	2035年
街区公園	向田公園,八坂公園,春田川公園,泰平寺公園,芋野公園,門田公園,上大島公園,前田公園,山田島公園,香田公園,湯島公園,隈之城公園,高原公園,外園原公園,田海公園,水引公園,国分寺公園,宅満寺公園,火扇公園,前畑公園,蛭田公園,丸坊公園,諏訪田公園,五代公園,前水流公園,世脇公園,古原公園,東口親水公園,田麦公園,市比野公園	1952～2017	高 (D)	対象施設なし	—		
			中 (C)	修景施設,休養施設,遊戯施設,運動施設,管理施設	51	更新 または 補修	
			低 (B,A)	修景施設,休養施設,遊戯施設,運動施設,便益施設,管理施設	117	補修	
近隣公園	野間島公園,御陵下公園,三堂公園,丸山公園,丸山自然公園	1962～2012	高 (D)	遊戯施設	3	更新	
			中 (C)	修景施設,遊戯施設,運動施設,教養施設,管理施設	19	更新 または 補修	
			低 (B,A)	修景施設,休養施設,遊戯施設,運動施設,便益施設,管理施設	51	補修	
地区公園	清水ヶ岡公園	1991	高 (D)	対象施設なし	—		
			中 (C)	休養施設,遊戯施設,運動施設,管理施設	8	更新 または 補修	
			低 (B,A)	遊戯施設,運動施設,便益施設	17	補修	
運動公園	薩摩川内市総合運動公園	1991	高 (D)	対象施設なし	—		
			中 (C)	休養施設,遊戯施設,便益施設,管理施設	11	更新 または 補修	
			低 (B,A)	休養施設,遊戯施設,便益施設,管理施設	23	補修	

公園箇所数計:37箇所 対象施設数計:300施設

【対策費用】※1 概算費用合計(千円): 394,930 (暫定値)

【対策効果額】※2 概算金額合計(千円): 56,800 (暫定値)

※1:10年間における長寿命化対策費用を示す

※2:10年間におけるライフサイクルコスト縮減額を示す